

てんこもり



発行：丸ス産業株式会社 「てんこもり」編集部
TEL：0574-72-1318 FAX：0574-72-2739

暑い日が続きますが、皆様お元気で過ご
していきましょう。

ニコー メその1

ぶらり道の駅 を訪ねて

今回ご紹介する道の駅は、白川村にある「道の駅 白川郷」です。ここは東海北陸自動車道白川郷ICを降りてすぐであり、とてもアクセスが良いです。合掌造りで有名な「荻町合掌造り集落」もほど近く、世界遺産を訪れたついでに楽しめる場所でもあります。

この道の駅の最大の特徴は、道の駅の中にある「合掌ミュージアム」です。このミュージアムに本物の合掌造り家屋がまわること移築してあり、昔の生活の知恵と技、合掌造りの建築過程が分かりやすく展示されています。入場料無料なのでぜひ見てください。売店には、ここでしか買えないおみやげ物がそろっています。「どぶろく」などのお酒や、白川郷育ち「結旨豚（ゆ



いうまぶた）」を使ったフランクフルトやカレーなどが売られています。私は評判がよい「石とうふ」を買おうとしたのですが、すでに売り切れていました。お食事処「水屋（みんじや）」では、地元食材をつかった料理を提供してくれています。今回は結旨豚を使った豚汁定食と、結旨豚チャーシュー麺を頂きました。どちらもとてもおいしかったです。豚汁はたくさん野菜と肉が入っていて満足できる1汁です。飛騨牛コロッケもついており、ご飯と一緒に食べるとお腹一杯になる量です。結旨豚チャーシュー麺は大きなチャーシューがのっており、油身が甘



今回は道の駅ピアチェレで販売している、白川町の新しい名産品を紹介します。白川町は緑茶が有名ですが白川ハムも人気があります。県内産の食材を100%使用した、製法にこだわりのあるハムです。道の駅イチ押しの新商品は「しいたけウインナー」です。関市の「平成しいたけ園」とのコラボ商品で、しいたけを練りこんだ新しい味覚のウインナーです。袋に

ニコー メその2

しいたけウインナーのご紹介

く食べ応えがあります。皆様、白川村に出かけて世界遺産を楽しみ、道の駅に立ち寄ってみてはいかがでしょうか。☆岐阜県大野郡白川村飯島41 ☆TEL 05769・6・1310 ☆営業時間 8時30分～17時（お食事処9時30分～16時） ☆定休日 年中無休 b y 島崎
（※豚汁定食は夏期間中は提供しておりません）



「噛めば噛むほどにかくおいしい！」と書いてあります。パッケージデザインは、関商工の生徒さんに依頼したそうです。生徒さんはウインナーの製法を学び、試食した印象をデザインに反映しました。私も買って食べましたが、パッケージのとおり「噛めば噛むほどにかくおいしい！」ウインナーです。皮はパリッとしていて、豚の旨味と、それを邪魔しないしいたけの風味が口の中いっぱい広がります。これまでに食べたことのないおいしさは、ご飯のおかずや、ビールのおつまみにお勧めです。白川ハムの仲間にはバラエティに富んでいて、黒コショウ、黒ゴマ・ゆず・ほうじ茶・えごまなどを使用したハム・ウインナーがあります。是非一度白川町の名産品をご賞味ください。 ※ピアチェレよりお知らせ！今年も最高級緑茶の白川茶の新茶が出来ました！試飲もできますのでお近くにお寄りの際にはぜひひお立ち寄りください！ b y 佐藤



ニコ3
メその
美味しい
お店の紹介



今回ご紹介するおいしいお店は、恵那市岩村町にある喫茶店「C A F E & R E S T - m a l c e」（マルセ）です。このお店は阿木川ダム近くの道沿いにあり、ひっそりとした佇まいで、外観は落ち着いた造りで、中に入るとアメリカンテイークにつつまれます。こちらのお店のテラス席から眺める阿木川湖畔は絶景です。鳥のさえずりを聞きながらゆったりとした時間を過ごせます。コーヒーも絶品で、お店の雰囲気にもマッチしています。神戸萩原珈琲の豆を井戸水で淹れると、香りが引きたつて奥深い味わいのコーヒーになるそうです。コーヒーに合うチーズケーキと一緒に頂きました。ケーキの味は甘さ控えめで、さっぱりとしています。クッキー部分がアクセントになり、コーヒーとともにマッチしていました。今回はカフェだけ楽しみました。今回は次回もランチも食べてみたいと思いました。



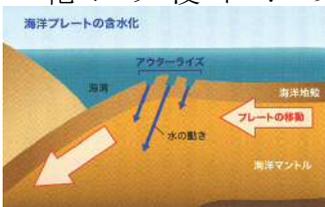
このお店の名前「malce」はフランス語の「marché」（市場・人の集まる場所）と前オーナー宅の屋号「丸セ」から作られた造語だそうです。お店の隣にログハウスがあり、レンタルルームとして貸し出しています。周りに迷惑になることがないので騒いでも大丈夫です。普段はマスターが音楽スタジオとして使っているそうです！
☆住所 恵那市岩村町飯羽間 3689・167 ☆TEL 0573(43)3707 ☆定休日

毎週火・水曜日 ☆営業時間 11時〜18時 by小栗

ニコ4
メその
2つの種

今回は断層と水のお話です。石川県の能登半島先端で群発地震が続いています。群発地震は通常の「本震―余震型の地震」と異なり、同じような規模の地震が長い期間頻発する活動です。能登半島では2020年12月に地震が活発化して今日まで続いています。今年5月5日の震度6強を観測した地震では、珠洲市内で最大約18センチの地盤隆起がありました。今回の地震報道で普段あまり耳にしたことがない内容があったので調べてみました。京都大学などの研究グループは、群発地震のある地域で地電流や地磁気を観測しています。その結果、流体が一連の地震活動に関係している可能性が高いと結論付けました。地下深部から上昇した水のような流体が断層帯に入り、膨張やゆっくりとした断層運動を起こすことにより、長期間継続する地殻変動や地震活動を引き起こして

いるそうです。地震のメカニズムで知られているのが、プレート運動や火山活動によるものです。地下深部から水が上昇するとありますが、地下深くに液体の水が存在するのでしょうか？以前より、火山の存在しない内陸部での群発的地震活動は、水などの流体が原因であるとの指摘がありました。私の書棚にある本の説明が分かりやすいので、断層と水の関係について引用します。地震が起こるためには、断層を動かせる程度の差応力（せん断応力）が必要ですが、じつはプレート運動による差応力は地下深くで地震を起こすほど大きくないことも分かってきました。この謎を解消する鍵が「水」です。断層（上部地殻）に水が存在する場合、摩擦力が小さくなり、小さな力でも断層が動きます。その水はどこからやってきたのでしょうか？海洋プレート内に海水が浸透し、海洋プレートの浅い部分で含水化が進みます。



海洋プレート内に浸透していた水はそこにある鉱物と反応し含水鉱物（雲母や角閃石・蛇紋石など）を形成します。含水鉱物は高温・高圧では不安定になり、周囲に水を放出します。この水が地殻流体になります。地殻流体が上部地殻へ上昇するきっかけとなった現象や、上部地殻への流体の供給量やその時間変化など、群発地震活動の規模や推移を予測するための情報は十分ではありません。今後は、地殻流体の挙動の理解を進めていく必要があるそうです。
by FAT かつう

てんこもり編集部より
ひとこと

今回の「てんこもり」いかがでしたでしょうか？今回も私達が、最近気になった事や楽しかった事、ちょっと得しそうな事等を紹介させて頂きました。また読者の皆様からも、色々なニュースの紹介をお待ちしております。（自慢話、おいしい・楽しいスポット紹介、サークル紹介等どんなことでも結構です。）写真をつけてくだされば最高です！こちらまでご連絡下さい。
丸ス産業株式会社「てんこもり」編集部
TEL 0574-72-1318 FAX 0574-72-2739